



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

JAPAN EAST REGION

東日本区理事通信

2019~2020



2019.10.3 発行

第4号

勇氣ある変革、愛ある行動!

Innovation with courage, action with heart!

みんなで力を合わせて、1・2・3

Hop, Step and Jump with all Y'smen

強調月間

■ EMC/E

■ YES

理事 メッセージ

東日本区理事 山田 敏明 (十勝)

東日本区の皆様、こんにちは。

十勝は今、収穫の秋を迎えています。今年も、十勝から全国のワイズメンズクラブへ、秋の稔りをお届けします。

9月末で、NHK連続テレビ小説「なつぞら」が終了しました。勿論、十勝がロケーションとなり、酪農の開拓の物語のバックグラウンドの中で、皆様もご覧になっていたと思います。私も、富山からの開拓者の4代目で、このドラマで、いろいろな事で元気づけられました。十勝のいたるところで、その形を見ることが出来ますので、是非来年の第23回東日本区大会にお越しください。

今月の協調月間は「EMC/E/YES」です。皆さんもご

承知の通り、「Change!!2022」委員会も、本格的に始動しています。詳しくは、「change!!2022 ニュース」が、毎月発行されていますので、是非ご覧ください。

ワイズ活動は、今、質と量が求められています。基本は、毎月の例会を充実することです。

今一度、ワイズの魅力づくりである例会を見つめなおしましょう。マンネリ化とか、とりあえずやっているとかありませんか? 楽しい例会にして、たくさんのゲストをお呼びし、クラブのメンバー増強を図りましょう。

10月26日(土)に、「次期部長・事業主任研修会」が開催されます。いよいよ板村年度が始動します。次期の役員は、フレッシュな方から、ベテランの域の方まで、多才なラインアップで構成されています。どうぞご期待ください。

強調 月間

会員増強事業主任

札埜 慶一 (熱海)

■ 強調月間(EMC-E)に寄せて

「情報が伝わらない!!」

毎月数回、四ツ谷の東日本区事務所に熱海から行き、Change!2022委員会、同編集委員会、会員増強事業委員会など各種事業に東日本区会員増強事業主任として携わってきて3ヶ月が過ぎた。実際には栗本さんが理事になる前の年から前後3年、東日本区に出たらもう帰れないとの噂は聞いていたが、さらに2022年の12月まで計7年抜けられなくなってしまった。熱海クラブに帰る4年後にはもう忘れられた存在になっているのだと思う。熱海クラブがあってこそその区役員なのに栗本委員長、大川書記も同じである。すべては奉仕の精神と耐え忍ぶこの頃。

しかし、先日そこにとんでもない衝撃を受ける情報が耳に入ってきた。各クラブの会長宛に今季から会員増強のために毎月発行している「Change!2022ニュース」を郵送、さらに会長全員へのメール送信してあるのにもかかわらず、そんな物は見たことがないと複数の会長からお会いしたときに言われたのだ。もっとも「理事通信」でさえ見ていない方が多いのだから、

「Change!2022ニュース」レベルでは見ていないと言われても仕方がないのかもしれない。いくら委員の皆さまが頑張っても情報発信しても見ていただければ何もその努力は報われない。「情報が伝わらない!!」のでは話にもならない。それでは会員増強などできるはずもない。ワイズには情報過疎地があるのだ。それをどうやって啓蒙するのが大問題です。

ハンドブックを見ていただければわかるが、メール、FAX、電話の記載のない方が増えてきている。理由を聞くと名簿を買う業者がいるから個人情報を出したくないとのこと。区役員、部長、会長、書記、部役員くらいはこれらの掲載がないと連絡が取れない。例えば全会長に連絡したくても一部の方は記載がないから一斉には連絡が取れないので、個別に電話しなければならぬ場合もある。お願いですから必要な情報は記載して下さい。情報が伝わらなければワイズに存在しないのと同じ事です。

フェイスブック(FB)作成にしても、例えば今日「〇〇の大会」に参加しているとわかるとドロボーに入られる、子供が誘拐される(アメリカでは前例が1件ある)とか言って作成を拒む方もいる。過去形で書けばいいだけの話です。だから、FB掲載を検討のみ、保留しないで今のうちにデータをください。

**会員
増強**



SNSの活用でEMCを 会員増強事業主任 札 堃 慶一 (熱海)

先月の理事通信でもご案内の通り、今年度の活動方針の一つとして、フェイスブック等のSNSを活用して情報発信を強化し、会員増強に繋げようと取組みを始めています。

9月25日現在、下記26クラブのフェイスブック登録が完了しています。

- 北東部:仙台・宇都宮・宇都宮東・もりおか・石巻広域
- 関東東部:東京江東・東京グリーン・川越・茨城・東京ベイサイド
- 東新部:東京
- あずさ部:甲府・東京山手・東京武蔵野多摩・東京サンライズ・甲府21・富士五湖
- 湘南・沖縄部:厚木・横浜つづき・沖縄
- 富士山部:熱海・沼津・伊東・下田・熱海グローリー・富士

**ユ
ー
ス**

第32回ユースボランティア リーダーズフォーラム報告 実行委員長 衣笠 輝夫 (埼玉)

開催日時:2019年9月6日(金)~8日(日)
開催場所:東京YMCA山中湖センター
参加リーダー数:40名、カウンセラー数:5名
スタッフ数:2名(東京YMCA江東センター)
2名(横浜YMCA)

基調講演者:大沼謙一氏・堀江和広氏
聖日礼拝奨励者:山本剛士郎ワイズ(川越)
主管:東京YMCA江東センター
参加ワイズメン(部分参加含):22名
40名のボランティアリーダー参加で、たいへん賑や

**強調
月間**

**国際
交流**

国際・交流事業主任
板村 哲也 (東京武蔵野多摩)

強調月間(YES)に寄せて

YES(Y's Extension Support)は、新クラブ設立の活動を支援するための地域(エリア)レベルの基金です(2016-2017年度までは国際レベルの基金)。各区から地域に拠出されたYES献金は全額が地域内のエクステンション関連費用に使用されます。(献金総額の半額が、各区に前年度にチャーターされた区内のクラブメンバー数の合計に応じて配分され、半額は地域全体としての国境を越えたクラブ新設(EBB-Extension Beyond Borders)関連費用に用いられます)

なお、東日本区では独自に「YES活動支援金支給制度(1新設クラブあたり10万円を支給)」(所管:会員増強事業主任)を設けており、新クラブを設立すれば地域および区の両方から支援を受けられますので、エクステンションを頑張りましょう。

かなフォーラムになりました。

基調講演では大沼謙一氏・堀江和広氏から「人を育てるYMCA」のスピリッツが語られ、大いに刺激を受けたリーダーも多かったのではないのでしょうか。

今回初企画として、朝昼夕の各食事のテーブルにワイズメンが入り交流が持たれました。みなさん楽しそうにしておられたことが印象的でした。

往路のバスプロからカウンセラーによりチームビルドが始まります。キャンプソングを歌いながらチームをつくっていきます。復路のバスプロは少し緊張の表情だった往路にくらべ、はるかにリラックスした笑顔でチーム内でキャンプソングを歌っていました。参加リーダー各自、このフォーラムで、知らなかった自分、新しい自分を発見したのではないのでしょうか。



部 **富士山部大会** now! & 下田クラブ40周年開催!

【部大会】 富士山部部长 長田 俊児

9月29日(日)、富士山部大会が開催されました。今回は丁度サポートクラブの下田クラブが40周年の節目となり合同で開催致しました。その効果も有り、部内で一番遠隔地にもかかわらず各クラブから90名もの方々にお出で頂きました。本当に有難くワイズの繋がりを今回程感じた事は有りません。感謝の一言ではとても言い表せない力強さを実感しました。

会場は下田市白浜のリゾートホテル・ホテル伊豆急、青い芝生と大きいプールの素晴らしい場所です。ここでカリブのスティールパンによるオープニングコンサート、そして地域のフラガールズの魅惑のダンスを皆様に楽しんで貰えるはずでしたが「雨」、、、ワイズメン、ウィメンは雨男、雨女が多いみたいです。でも、部大会はお祭りです。登録者全員で盛上がりました。この交流が、余計な気遣いが不用なこの交流こそが、ワイズの信条そのものと改めて感じさせられた部大会でした。この交流が益々広がっていきま



YMCA たより

日本YMCA同盟東日本区担当主事
光永 尚生(三島)

50数年ぶりに開催されました、アジア太平洋YMCA大会は、国内外からの377名の参加により、御殿場のYMCA東山荘をメイン舞台として開催されました。多くの皆様のご協力で、無事に開催できたことを心から感謝し、お礼を申し上げます。

セッションでは、山田公平国際リエゾンと、田中博之アジア太平洋地域会長のファシリテーションで、国内のワイズメン・YMCA関係者が一堂に会し、それぞれの言語に分かれたディスカッションも活発に進められました。画期的なこととして、同じテーマを異なる言語で語り合うことの大切さも学びました。今回は、英語がメインでしたが、世界の繋がりをしる機会として、国際的団体であるYMCAとワイズメンズクラブの真骨頂ではないかと感じた次第です。9月18日(水)からは、日本YMCAスタッフ研修ステップⅡが、YMCA東山荘並びに東京の在日本韓国YMCA等をメイン会場として74日間開催されます。10月11日には、在日本韓国YMCA(AYC)において、山田東日本区理事、戸所西日本区理事の講義をお願いしており、全国の研修生との直接の交わりと学びの機会を創っていただく予定です。相互理解を今後とも継続して進められれば幸いです。

【40周年】 下田クラブ書記 土屋恒夫

40年の輝かしい歴史(例:黒船祭筏乗り競漕)を回顧し、新たな発展を誓った。土屋誠会長は「先輩方の築いたワイズの光を消さずに頑張る」と宣言。

今回下田クラブは午前中の部大会のホストも兼任していたことで、8名全員が一人二役を担いながら諸準備に奔走した。小トラブルもあったが、本番が近くにつれ強固な協力態勢が生まれ、難局を乗り切ることが出来た。

DBC札幌北クラブは我々と同規模にもかかわらず、5名もの“兄弟”がお祝いに駆け参じてくれた。その情愛に深く感謝する。出席者は90名に達し、感慨もひとしおであった。

ワイズメンズクラブは単独で存在するのではなく、富士山部・東日本区の一員であることを改めて思い知らされた。ワイズの真骨頂はこうした交流にあると言える。次回の周年例会へ向けての目標は質の充実である。「身体」と「頭」と「心」を駆使して下田クラブらしい堅実な歩みをしたい。皆様本当にありがとうございました。

メンバーへ:“お互いよく頑張りました。本当にお疲れ様でした。”



ワイズカレンダー

〈東日本区の行事を中心に〉

《10月》

- ・5日(土) 東京江東クラブ60周年祝会(亀戸アンフェリション)
- ・12日(土) 東京八王子クラブ25周年記念例会
(高尾の森わくわくビレッジ)

- ・26日(土) 次期部長・事業主任研修会(日本YMCA同盟)

《11月》

- ・2日(土) 東日本区第2回役員会(日本YMCA同盟)
- ・10日(日) ワイズデー
- ・30日(土) 東日本区ワイズメネットのつどい
(日本基督教団毛呂教会-埼玉県入間郡毛呂山町)

《これからの部大会》

- ・10月 5日(土) 関東東部(東京Y東陽町センター)
- ・10月12日(土) 東新部(東京・ライオン銀座七丁目)
- ・10月19日(土) あずさ部(松本・深志斎館)
- ・2020年2月22日(土) 湘南・沖縄部
(那覇・沖縄サンプラザホテル)

歓迎! -9月の入会者 (敬称略)

- ★及川大樹・北条裕子・野澤一弘(東京ひがし)
- ★佐藤利之・宮岡宏実(甲府21)
- ★今井真由美(熱海)